

令和6年度

# 生活学校・生活会議運動 全国大会

令和6年度  
生活学校・生活会議運動全国大会



写真右から) 前川統一郎・内閣府大臣官房総務課管理室室長、花木啓祐・(公財)あしたの日本を創る協会会長、榊誠・(公財)あしたの日本を創る協会理事長、祝前清美・全国生活学校連絡協議会会長  
写真右下) 古藤雄一・子ども家庭庁支援局虐待防止対策課課長補佐 (役職は開催日のもの)

- 1. ヤングケアラーの実態
- 2. ヤングケアラーに気づき支援につなぐには
- 3. ヤングケアラー支援の取組
- 4. 法制化について

子ども家庭庁  
支援局虐待防止対策課  
古藤 雄一様

あしたの日本を創る運動  
推進功勞表彰

内閣官房長官表彰



広島県 植村 二三子  
広島県生活学校  
連絡協議会会長



三重県 渥美 恭子  
三重県新生活運動  
推進協議会運営委員



石川県 坂井 節子  
石川県新生活運動協議会  
監事



石川県 本 瑠恵  
石川県新生活運動協議会  
常任理事



茨城県 白土 登記子  
茨城県生活学校  
連絡会監事

特別功勞表彰



福岡県 古賀 恭子  
春日市生活学校



岐阜県 加藤 栄子  
瑞浪市生活学校



岐阜県 二宮 充子  
土岐市生活学校



東京都 菊田 希子  
あおば生活学校



茨城県 高田 秀子  
延方生活学校



宮城県 佐藤 幸子  
仙台市泉ひまわり生活学校

会長表彰(個人)



山梨県 中山 博子  
山梨県生活学校連絡会  
副会長



石川県  
わじま小梅の会



茨城県  
取手生活学校



宮城県  
仙台市泉ひまわり  
生活学校



鹿児島県 鳩野 トミ子  
日置市日吉地域生活学校



鹿児島県 遠矢 美枝  
日置市日吉地域生活学校

会長表彰(団体)

特別功勞表彰

写真は表彰式に出席された方。(敬称略・役職は4月1日時点)

令和6年6月28日、東京都新宿区のホテルグランドヒル市ヶ谷において、「令和6年度生活学校・生活会議運動全国大会」が開催された。全国各地の生活学校・生活会議などの地域活動に取り組み団体の方や行政関係者など約110名が参加した。

開会行事では、主催者として公益財団法人あしたの日本を創る協会の花木啓祐会長が挨拶。来賓としてご臨席の前川紘一郎内閣府大臣官房総務課管理室長よりご挨拶をいただいた。また、全国生活学校連絡協議会の祝前清美会長、(公財)あしたの日本を創る協会の神誠理事長が登壇した。

続いてあしたの日本を創る運動推進功勞者の表彰が行われ、今年表彰を受けた、内閣官房長官表彰5名、特別功勞表彰12名、会長表彰個人の部2名、会長表彰団体の部3団体のうち、表彰式には計17名・団体の方が出席された。

続いて基調講演では、こども家庭庁支援局虐待防止対策課課長補佐の古藤雄一氏から「ヤングケアラー支援の現況」について講演があった。講演の冒頭、令和6年6月12日に子ども・若者育成支援推進法が改正され、ヤングケアラーが初めて法律に明記され、ヤングケアラーを「家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子ども・若者」として、国・地方公共団体等が各種支援に努めるべき対象とされたことが触れられた。講演では「ヤングケアラーの実態」「ヤングケアラーに気付き、支援につなぐには」「ヤングケアラー支援の取組」「法制化について」を議題に話があり、お住まいの地域でヤングケアラーへの気付きや具体的な支援の必要性についてお話いただければと、参加者への期待も込められた。(講演内



容は本誌41〜44ページを参照)

続いて、全国運動「食を通じた子どもの居場所づくり」について、あしたの日本を創る協会の榊理事長、藤田事務局次長、および全国生活学校連絡協議会の祝前会長より説明があった。

その後、分科会は2つのテーマで開催され、第1分科会「全国運動の取り組み」は、当協会より児童虐待とヤングケアラーの問題について説明があり、今後、各地で生活学校・生活会議ができる活動について、参加者から意見や質問が寄せられた。

第2分科会「地域課題の解決に向けて」は3団体から事例発表が行われた。東京都北区・グリーンリンク生活学校からは「生ごみの資源活用モデル事業の提案」について、石川県白山市・美川生活学校からは「海洋汚染問題への取り組み」について、東京都武蔵野市・どっば子どもクラブ(生活会議)からは「子どもたちとともに、地域の自然を楽しみ、学び、守る活動」をテーマに話があった。

夕刻からの交流のつどいは約70名が参加し、新規開設生活学校のメンバーによる自己紹介の時間も設けられるなど、全国各地の参加者同士、新たな出会いの場となった。

参加者の一人、岡山県の黒住さんは「ヤングケアラーの講演が大変詳しく参考になった。地元を持ち帰り、改めてメンバーで勉強の場を持った。また、例年以上に若い世代から活発な意見が印象的だった」と話す。

大会の最後には「がんばろう」と参加者一同声を上げ、全国各地域活動に取り組み仲間同士の繋がりを実感し、活気にあふれた一日となった。

